

あの場合にはしかたなかったと  
いくら言い訳をしてみても  
それは言い訳にはならない



十七里行軍にて先生と生徒たち（1942年）

戦後70年特別展

# ひめゆり学徒隊の引率教師たち

2015年12月22日（火）より

開館時間：9:00 - 17:25 年中無休 入館料：大人310円/高校生210円/小・中学生110円

# ひめゆり平和祈念資料館 戦後70年特別展 ひめゆり学徒隊の引率教師たち

## 開催にあたって

今年は戦後70年という大きな節目に当たり、様々な場所で戦争を振り返る催しが行われており、改めて平和の大切さを考える大事な年になっております。

当館では、これまであまり取り上げてこなかったひめゆり学園（沖縄師範学校女子部・沖縄県立第一高等女学校）の先生方に焦点を当てた企画展を開催することにいたしました。

私たち生徒にとって先生方は、広く深い学問の世界へ導いてくれる師であり、学校生活の中で楽しくゆかいな時間を過ごす師であり、あこがれの存在でもありました。しかし、圧倒的な国家主義教育の潮流の中で、先生方も次第に軍国教師としての役割を果たすようになっていきました。時代の潮流から、先生方も自由ではいらなかったのです。

戦後、生き残った先生方は、たくさんの生徒を戦争に動員し、亡くしてしまったという自責の念にさいなまれます。引率教師の仲宗根政善先生は、娘を失った親たちの深い悲しみを目の当たりにしなければなりません。西平英夫先生は、亡くなった学徒の遺髪を大事に持ち帰り、後に遺族に届けたいという思いを持ち続けていました。仲宗根先生は、『ひめゆりの塔をめぐる人々の手記』の中で「あの場合はしかたなかったと、いくらいいわけをしてみても、それはいいわけにはならない」と痛恨の思いをしたためています。

あの時代の先生方の体験を改めて見つめ直すことは、時代の潮流が戦争へと向かっているようにも思える今、とても重要なことのように思えてなりません。

ひめゆり平和祈念資料館館長 島袋 淑子



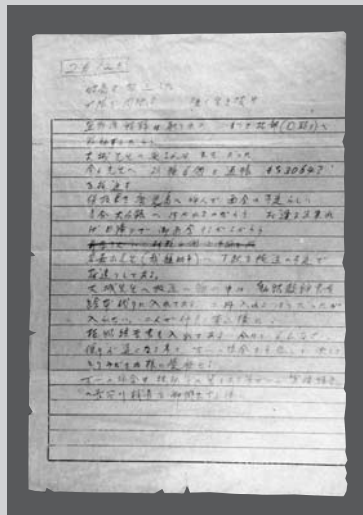
地理の授業風景（昭和初年頃）



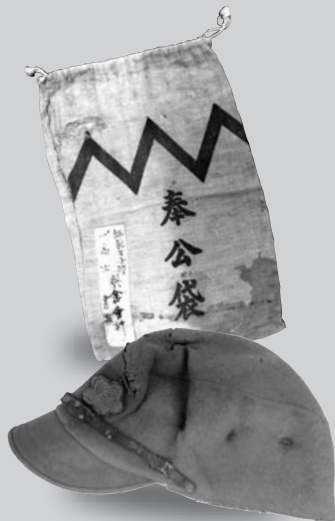
十七里行軍（1942年）



いはまぐらの碑と仲宗根政善先生（1950年代）



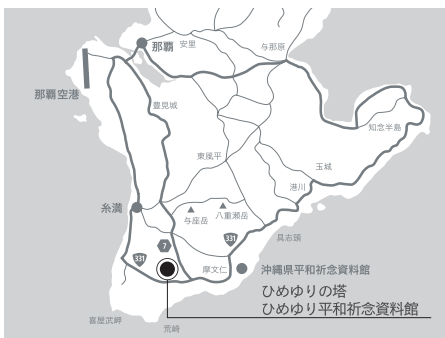
玉代勢秀文先生が疎開先の奥様に宛てた手紙



岸本幸安先生が使っていた軍帽と奉公袋

## ◆◆ 展示内容 ◆◆

- ひめゆり学園の教師たち  
（1944年度在職教員一覧／コラム「国体の本義」ほか）
- 戦時体制下、時代の締めつけが厳しくなってきた  
（コラム「疎開希望に対する教師たちの対応」ほか）
- 十八人の教師が生徒を引率して陸軍病院へ  
（沖縄陸軍病院での引率教師配置図ほか）
- 日本軍の撤退とともに生徒を連れて南部へ移動  
（証言「ガス弾の影響で子どもようになった生徒を連れて」ほか）
- 学徒隊解散を生徒たちに告げた  
（引率教師の死亡場所ほか）
- 引率した十八人のうち十三人が命を落とした  
（亡くなった引率教師のプロフィール・死亡状況ほか）
- 生き残った教師たちの戦後  
（証言「兼城、遺骨收拾に行こう」ほか）
- 展示資料 引率教師が家族へ宛てた手紙／陸軍病院へのスケッチ／戦功録 ほか
- 証言ビデオ ひめゆり学徒隊の引率教師たち【上映時間 約14分】



## ひめゆり平和祈念資料館 HIMEYURI PEACE MUSEUM

〒901-0344 沖縄県糸満市宇伊原671-1

【TEL】098-997-2100 【FAX】098-997-2102

【URL】<http://www.himeyuri.or.jp/>

【E-mail】[himeyuri1@himeyuri.or.jp](mailto:himeyuri1@himeyuri.or.jp)

【開館時間】9:00-17:25（入館受付は17:00まで）年中無休

【入館料】大人310円／高校生210円／小・中学生110円（団体割引20人以上）

【アクセス】バス：那覇バスターミナルから糸満行きのバス[34][89]で約30分。

さらに糸満バスターミナルから[82][107][108]で約15分 ひめゆりの塔前下車

車：那覇空港から約30分



日本平和博物館会誌